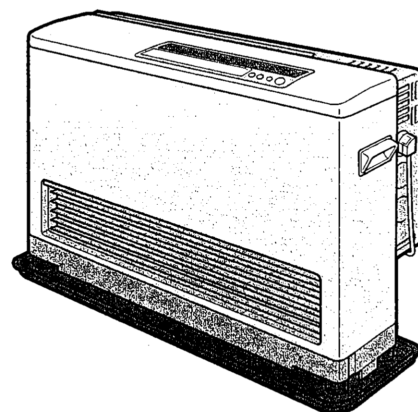
MITSUBISHI

お客さま用

三菱クリーンヒーター®
〈密閉式石油ストーブ〉

形名
VKB-501L
VKB-631L
VKB-501LD（シャッター付）
VKB-631LD（シャッター付）

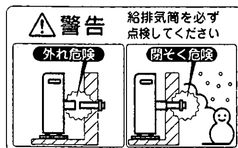
取扱説明書



ご使用の前に説明書をよくお読みになり、正しく安全にお使いください。
なお、お読みになった後は、お使いになる方がいつでも見られるところに、保管のうえご使用中にわからないことや不具合が生じたとき、お役立てください。

●保証書は必ず「お買上げ日・販売店名」などの記入を確かめて、販売店からお受け取りになり説明書と共に保存してください。

お客さまご自身では据付工事をしないでください。（安全や機能の確保ができません）



0304872HE0703

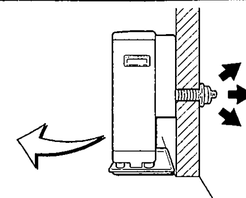
この製品は日本国内用ですので日本国外では使用できずまた、アフターサービスもできません。
This appliance is designed for use in Japan only and can not be used in any other country.
No servicing is available outside of Japan.

主な特長

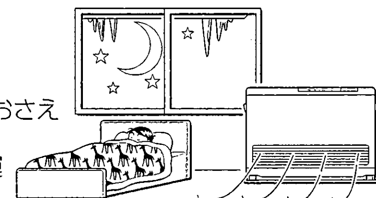
人にやさしいFF（強制給排気）式

FF式暖房機だから

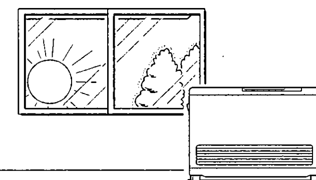
外の空気を使って燃焼し、排気ガスを外へ出すからお部屋の空気を汚しません。



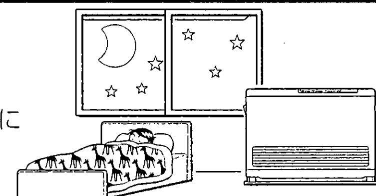
パワーおさえめの静音運転
（ひくめ運転）
燃焼量を少し低めに制限することで、運転音をおさえた運転を行います。
連続のひくめ運転と、ご希望の時刻にひくめ運転を解除するタイマー運転があります。



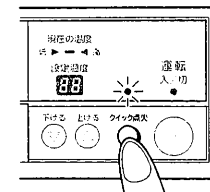
ご希望の時刻にほどよい暖かさ
（入タイマー運転）
デジタル式24時間タイマーで、ご希望の時刻にほどよい暖かさになるよう自動的に点火します。
ご希望の時刻は平日と休日または朝と夕方のように2通り設定できます。



自動的に運転をとめたい
（切タイマー運転）
スイッチ操作ひとつで1時間または2時間後に自動的に運転を停止します。

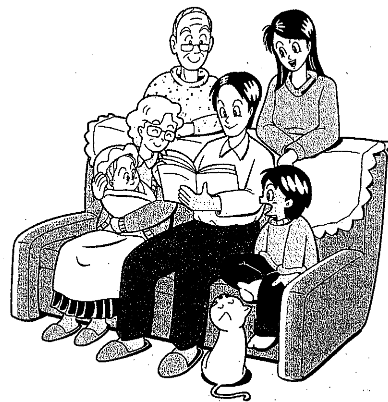


点火時のイライラ解消
（クイック点火）
いつでも点火できる状態で待機しています。
（1時間あたりの消費電力は平均約120W）
お出かけ前に、クイック点火スイッチを押しておけば帰宅後運転スイッチを押すと約30秒で点火します。
（条件により1分程度かかる場合があります）



もくじ

ページ



次のようなマークで
必要な情報を示しています。

[お願い] 正しく使っていただくための情報です。

メモ より便利にご使用いただくための情報です。

知っ得情報 細部の機能説明です。

ページ 参照ページを示します。

安全のために必ず守ること

●誤った取扱いをしたときに生じる危険とその程度を、つぎの表示で区分して説明しています。

⚠危険	誤った取扱いをしたときに、死亡や重傷に結びつくもの
⚠警告	誤った取扱いをしたときに死亡や重傷などに結びつく可能性があるもの
⚠注意	誤った取扱いをしたときに、傷害または家屋・家財などの損害に結びつくもの

●図記号の意味は、次のとおりになっています。

ガソリン使用禁止	指示に従い必ず行う
禁止	電源プラグを抜く
分解禁止	

⚠危険

室内排気厳禁

お客さまご自身では据付工事をしない

禁止

(異常燃焼し、一酸化炭素中毒の原因になります)

⚠警告

ガソリン厳禁

ガソリンなど揮発性の高い油は使わない。

GASOLINE

ガソリン厳禁

(火災の原因になります)

スプレー缶接近厳禁

スプレー

接近厳禁

(爆発の原因になります)

温風吹出口をふさがない

衣類・紙などで温風吹出口、空気取入口をふさがない。

禁止

(火災の原因になります)

給排気筒トップ閉そく危険

積雪の多いときは、給排気筒トップが雪でふさがれていないか確認し、ふさがれているときは除雪をしてください。

確認

(閉そくしていると運転中に排気ガスが室内にもれて、危険です)

はずれ危険

給排気筒(管・ホース)が正しく接続されているか点検してください。

点検

(はずれていると運転中に排気ガスが室内にもれて、危険です)

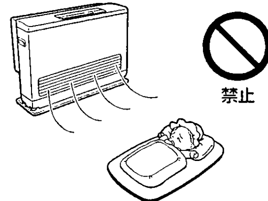
●図記号の意味は、次のとおりになっています。

記号	意味	記号	意味
(ガソリン使用禁止記号)	ガソリン使用禁止	(指示記号)	指示に従い必ず行う
(禁止記号)	禁止	(電源プラグ記号)	電源プラグを抜く
(分解禁止記号)	分解禁止		

⚠警告

温風に直接あたらない

温風を長時間、直接身体にあてない。
お子さまや身体の不自由な方が使用になるときは、まわりのひとが注意してください。

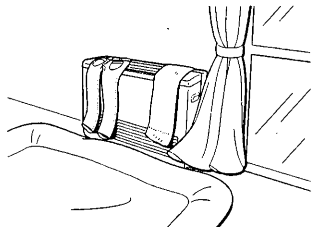


禁止

（低温やけど・脱水症状の原因になります）

⚠注意

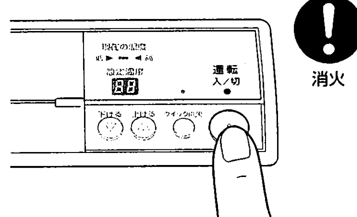
カーテン・可燃物近接禁止



禁止

（過熱により火災の原因になります）

給油時消火

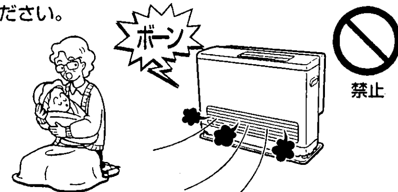


消火

（火災の原因になります）

異常時使用禁止

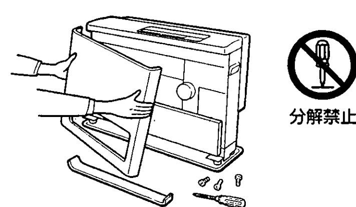
万一異常を感じたときは、使用しないでください。



禁止

（異常燃焼のおそれがあります）

分解修理の禁止

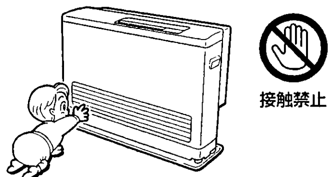


分解禁止

（感電事故の原因になります、不完全な修理は危険です）

高温部接触禁止

温風吹出口や給排気筒トップは燃焼中・停止直後は高温になっています。



接触禁止

（やけどをします）



接触禁止

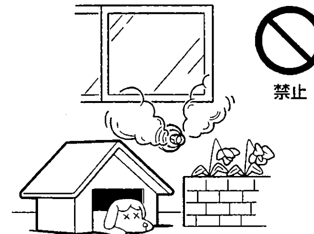
（やけどをします）

安全のために必ず守ること

⚠注意

排気ガスに注意

愛がん動物や植木などに排気ガスをあてない。

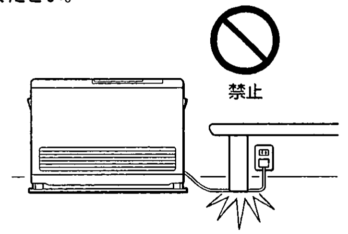


禁止

（動物が死んだり、植木が枯れる原因になります）

電源コードを傷めない

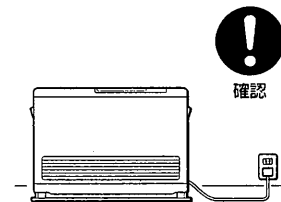
電源コードに無理な力を加えたり、物を乗せたりしないでください。また、コードを持って引き抜かないでください。



禁止

（火災や感電の原因になります）

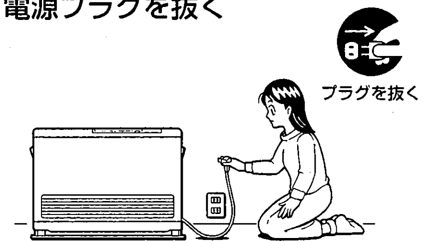
電源プラグは確実に差し込む



確認

（火災の原因になります）

長期間使用しないときは電源プラグを抜く

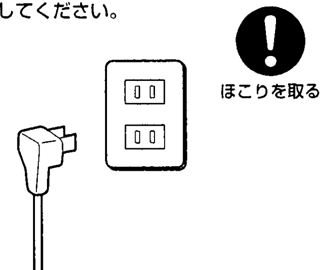


プラグを抜く

（火災や予想しない事故の原因になります）

電源プラグのお手入れを

ときどき電源プラグを抜き、ほこり（および金属物）を除去してください。

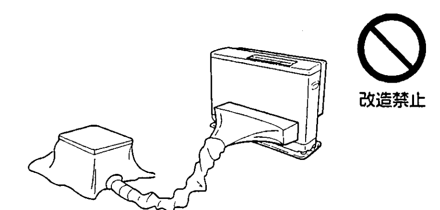


ほこりを取る

（火災の原因になります）

改造使用の禁止

温風をダクトなどで、こたつへ引き込むなどの改造はしないでください。



改造禁止

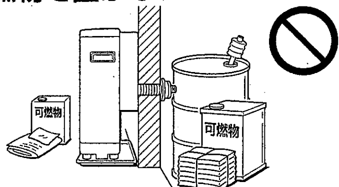
（火災や排気ガスが室内にもれる原因になります）

安全のためのお願い

●図記号の意味は、次のとおりになっています。

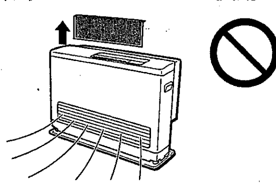
ガソリン使用禁止	指示に従い必ず行う
禁止	電源プラグを抜く
分解禁止	

製品の周辺や給排気筒トップ周辺に可燃物を置かない



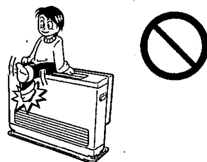
（過熱により火災の原因になります）

使用中にエアーフィルターをはずさない エアーフィルターをはずしたまま使用しない



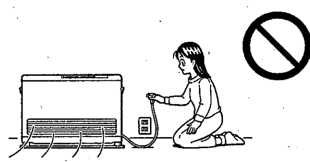
（ほこりが機器内部に入り、故障の原因になります）

腰をかけたり、物をのせたり、強いショックをあたえない



（変形・故障・給排気部品のはずれる原因になります）

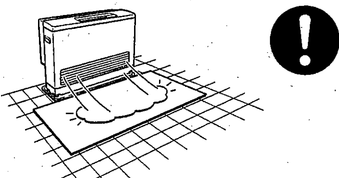
燃焼中は電源プラグを抜いたり、元電源（ブレーカー）を切らない



（余熱により故障する原因になります）

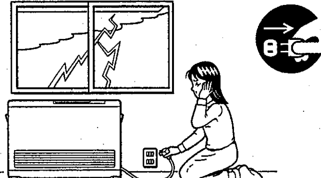
熱に弱い床面は保護する

熱に強いマット類を敷いてください。



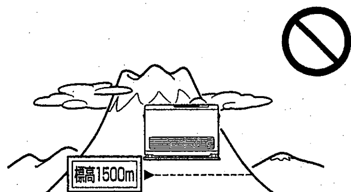
（床面が変色したりそりかえる）

雷のとき 電源プラグを抜いてください



（故障するおそれがあります）

標高 1500m 以上の高地では使用しない



（不完全燃焼の原因になります）

安全のためのお願い

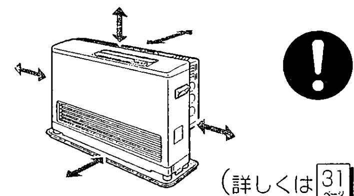
●図記号の意味は、次のとおりになっています。

ガソリン使用禁止	指示に従い必ず行う
禁止	電源プラグを抜く
分解禁止	

安全に使用するために

本体周辺の空間を確保する

（マントルピース内据付けについても空間を確保する）



（詳しくは 31 ページ）

居室の暖房以外の用途で使用しない

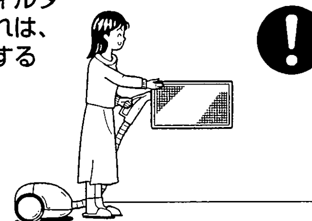
次のような場所では使わない

- 乾燥室
- 温室
- 飼育室
- 化学薬品を使用する場所



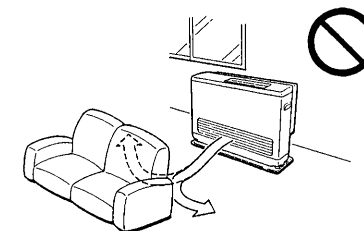
効果的に使用するために

エアーフィルターのお手入れは、こまめにする



（暖まりにくいうえに燃料がむだになります）

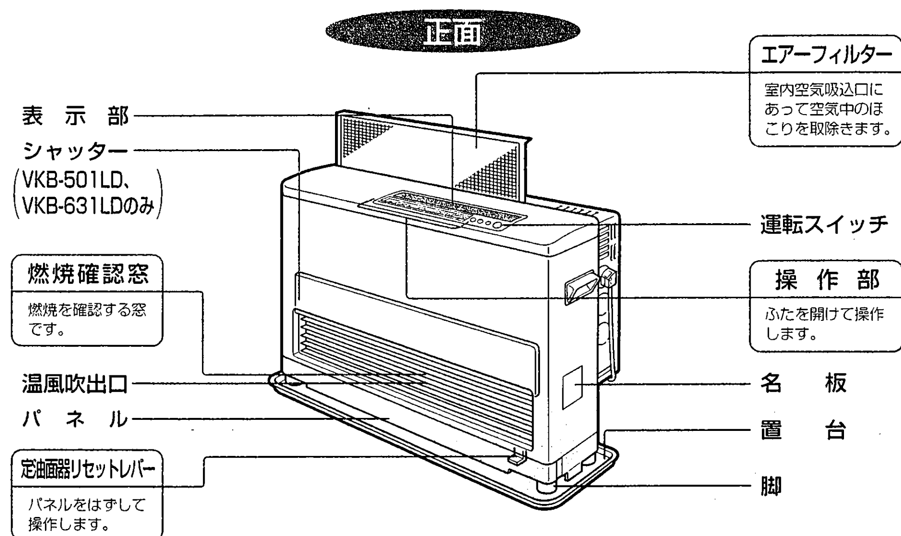
温風の循環を妨げない



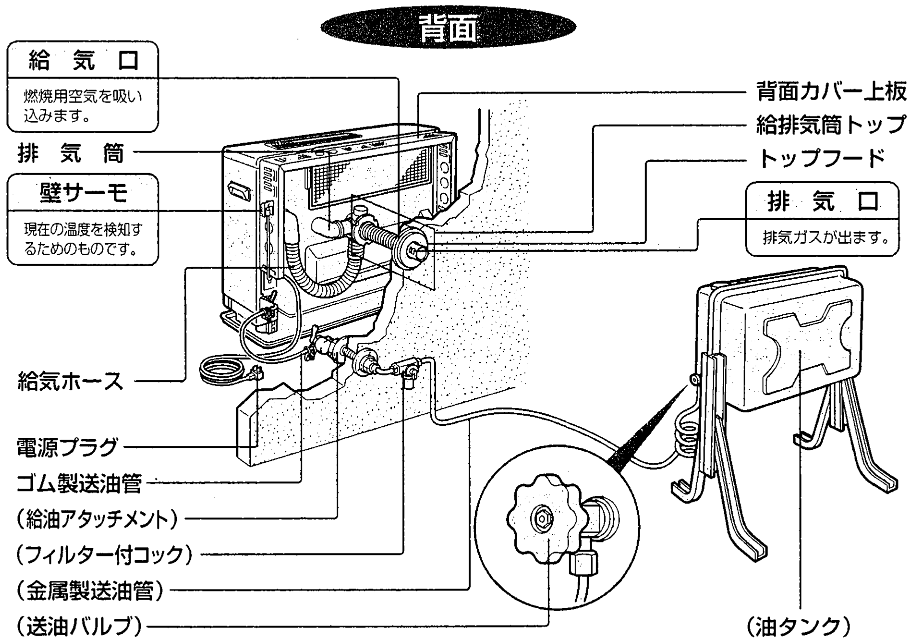
（室温調節が正しく作動しなくなります）

各部のなまえとはたらき

正面



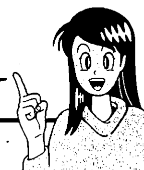
背面



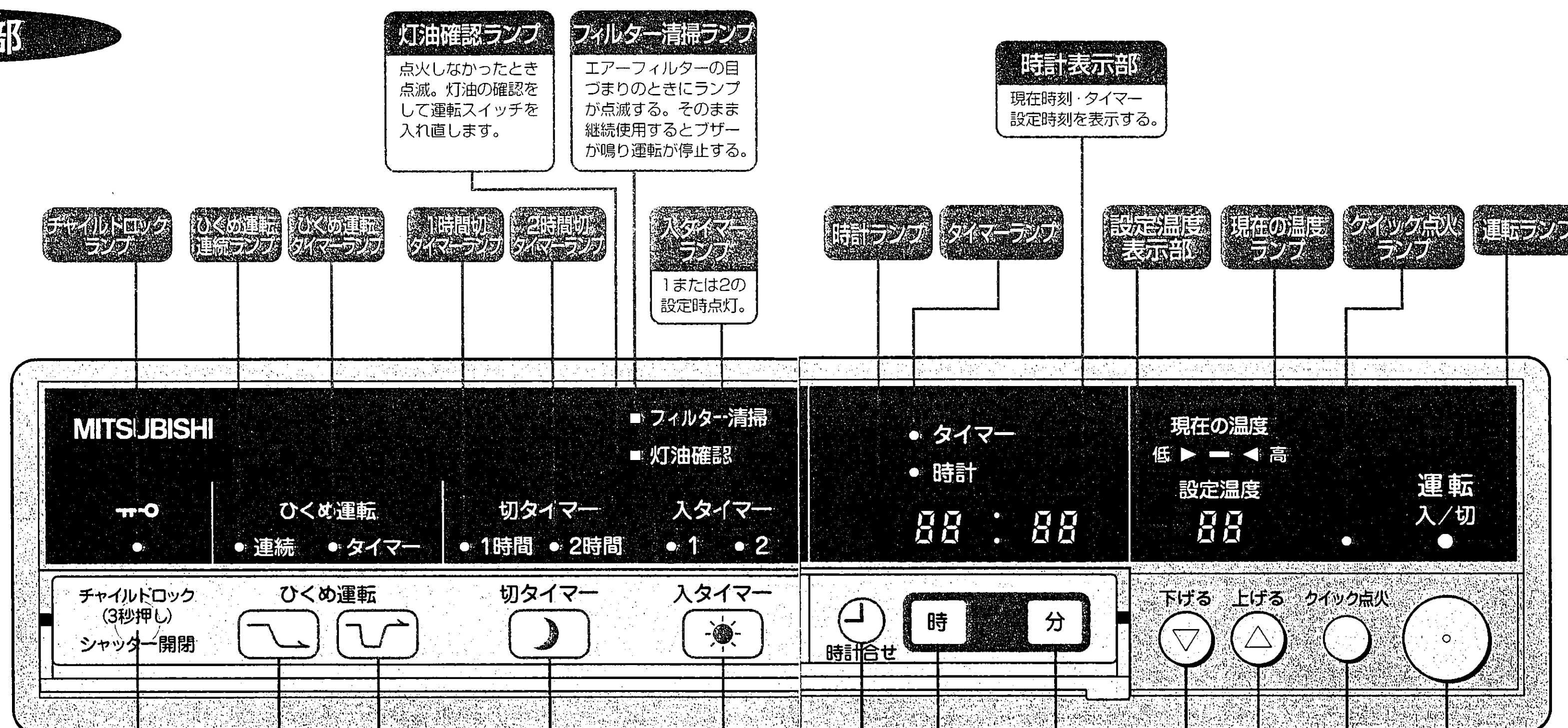
※（　）のついている部品は別売りです

表示部・操作部のなまえとはたらき

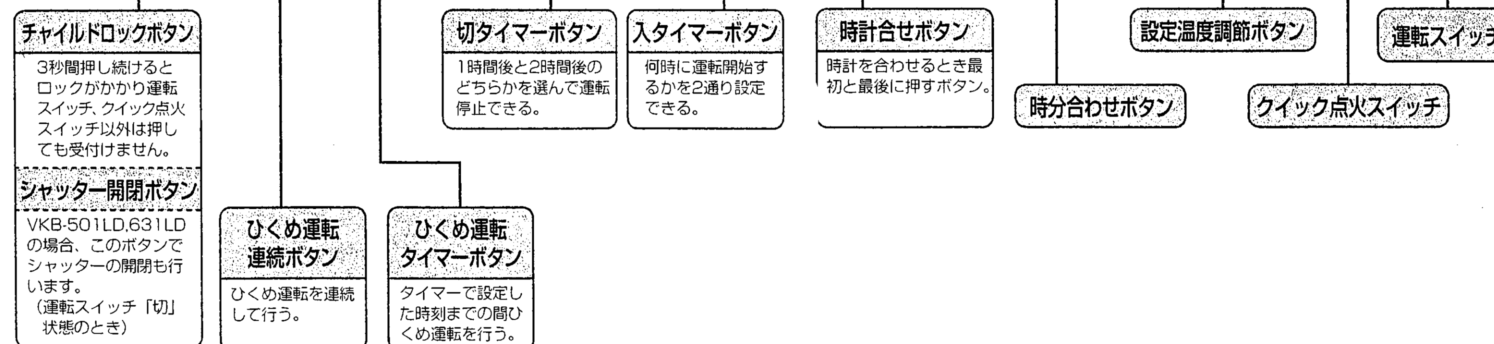
わかりやすいボタンだから
操作もカンタン！



表示部



操作部



使用前の準備(燃料・給油・運転開始前の準備・確認)

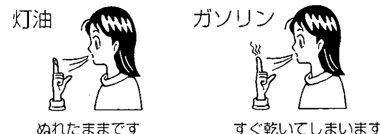
燃料

■必ずJIS1号灯油を使う

ガソリン、変質灯油、不純灯油などは、
絶対に使用しないでください。

灯油とガソリンの見分けかた

指先につけて息をふきかけます。
(火の気のない所でしてください)



ぬれたままです　　すぐ乾いてしまいます

■変質灯油とは

- ●ポリタンクで昨シーズンより持ち越したもの。
- ●日光のあたる場所で長期間保管したもの。
- ●温度が高い場所で長期間保管したもの。

見分けかた

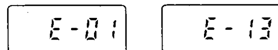
水よりも色がついていたら変質灯油です。
変質のひどいものは、黄色みを帯びたり、
すっぱい臭いがします。

■不純灯油とは

- ●水やごみが混入したもの。
- ●灯油以外の油(天ぷら油、機械油、ガソリン等)が混入したもの。
- ●助燃剤等が混入したもの。

■誤って変質灯油、不純灯油を使用してしまった場合

時計表示部にエラー表示



販売店に修理依頼をする。

■油タンクの据付けの確認

油タンクの据付け・接続は販売店・工事店が火災予防条例などに基づき実施しますが、据付工事完了後お客さまご自身でもご確認ください。……31ページ

給油



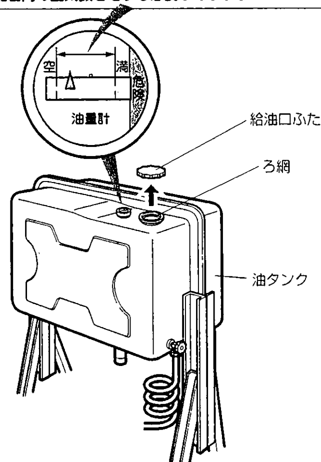
警告　ガソリン厳禁

空になる前に灯油を入れてください。
(空になると配管途中に空気がたまって、油が流れなくなることがあります)

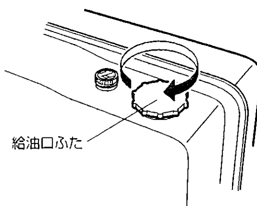
1 油タンクの給油口ふたをはずす。

2 給油口についている「ろ網」の上からこぼさないように灯油を入れる。

運転中も灯油切れをおこさないようこの範囲でご使用ください。
灯油切れをおこすと運転を停止して「E−01」のエラー表示が出ます
一度空になると配管途中に空気がたまり、給油をしても灯油が流れなくなることがあります
配管内の空気抜きをする必要があります



3 給油口ふたを確実に閉める。



[お願い] 万一、こぼれた場合はよくふきとってください。

運転開始前の準備

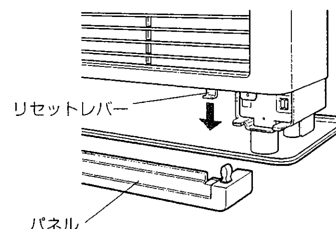
■定油面器のセット

1 パネルを手前に引いてはずす。

2 定油面器のリセットレバーを1回下げる。

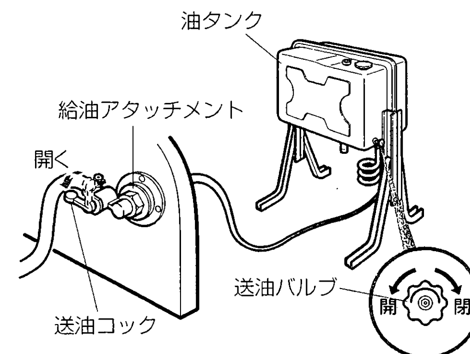
3 リセットレバーが元の位置に戻っているか確認する。

4 パネルを元にもどす。

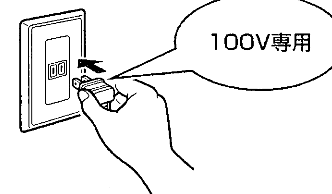


[お願い] シーズン初めや本体に強い振動が加わり運転停止した後、また、灯油確認ランプが点滅した後で再運転するときは、リセットレバーをもう一度下げてください。

■油タンクの送油バルブと給油アタッチメントの送油コックを開く



■電源プラグをコンセントに差し込む

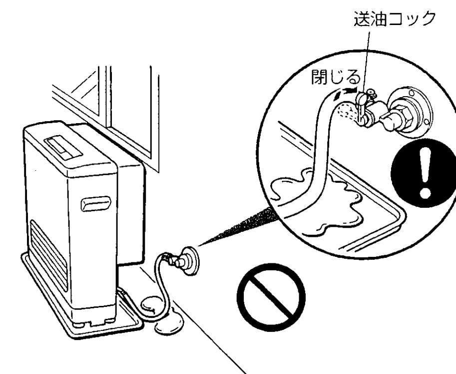


●専用のコンセントでご使用ください。他の電気製品と同じコンセントで使用すると、時計表示が進んだり、他の製品にノイズが入ったりする場合があります。

運転開始前の確認

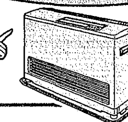
■製品や配管から油漏れがないか確認してください。

万一、油漏れしている場合は送油コックを閉じて、必ずお買上げの販売店に修理依頼、またはお近くの「三菱電機 修理窓口・ご相談窓口」にご相談ください。

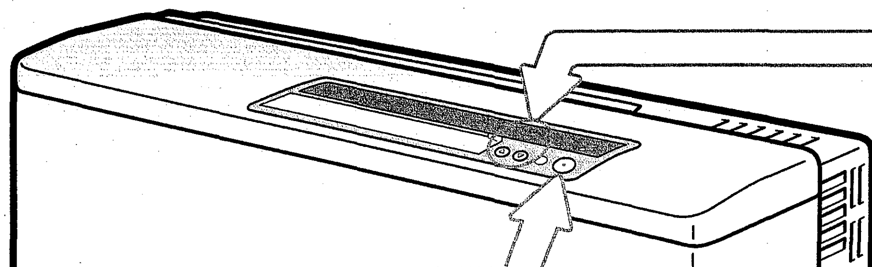


使いかた ふだんの使いかた



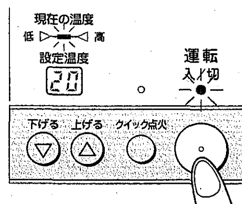


お好みの温度の暖房が
簡単操作でできる



点火のしかた

表示部・操作部



運転スイッチを押す

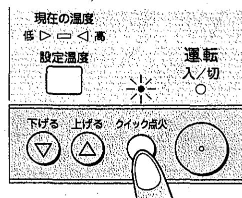
- 運転ランプが点灯します。
- シャッターが開きます。(シャッター付)
- しばらくして点火、温風が出ます。

メモ

- 灯油気化用ヒーターが暖まるのに5～6分かかります。

クイック点火のしかた

表示部・操作部



クイック点火スイッチを押す

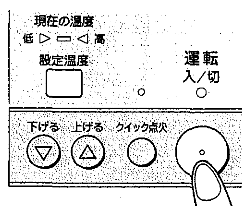
- 灯油気化用ヒーターの予熱をします。
- クイック点火ランプが点灯し、クイック点火モードになります。
- シャッターが開きます。(シャッター付)

メモ

- クイック点火スイッチを押しておくと、灯油気化用のヒーターを予熱しておきますので、運転スイッチを押すと約30秒で点火します。(温度条件により1分程度かかる場合があります)

消火のしかた

表示部・操作部



運転スイッチを押す

- 運転ランプが消灯します。
- しばらくして送風が止まります。
- シャッターが閉じます。(シャッター付)(クイック点火スイッチが「入」になっていると、シャッターは開いたままとなります)

メモ

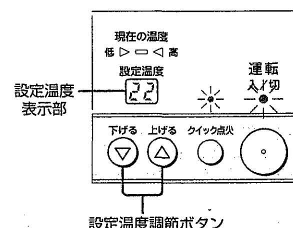
- 外出するときは、必ず消火してください。
- クイック点火モードになっている場合はクイック点火ランプが点灯します。

設定温度調節

通常の運転時とひくめ運転時にそれぞれ設定温度調節ができます。

(ひくめ運転時は 20ページ 参照)

表示部・操作部



上げる
△ ボタンを1回押すと1℃上がる

下げる
▽ ボタンを1回押すと1℃下がる

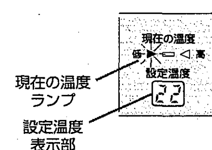
設定温度表示部を見てお好みの温度にする。

メモ

- 8℃～30℃の範囲で調節できます。
- 運転スイッチが「切」状態では設定温度調節はできません。

現在の壁サーモ温度と設定温度の差を目安として現在の温度ランプで示します。

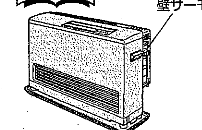
表示部



現在の温度が設定温度に対して

−2℃以下なら 点灯します。
±2℃以内なら 点灯します。
2℃を超えると 点灯し、さらに壁サーモ温度が上がると消火します。
※運転途中で設定温度を変更し、 ランプ表示に変更が生じた場合は数秒遅れて点灯します。

知っ得情報



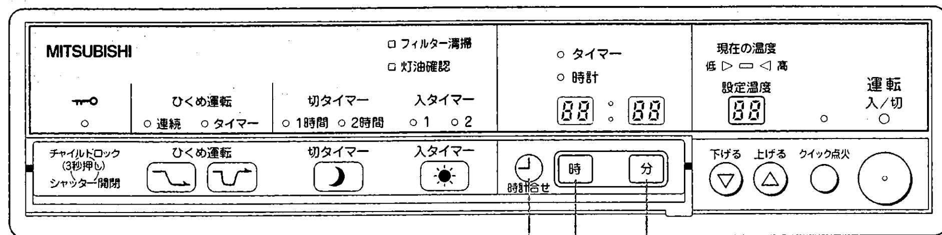
- 壁サーモの移動はチラシを参照して行ってください。

知っ得情報

クイック点火について

- クイック点火スイッチは、前もって押しておくスイッチです。
  運転スイッチを「入」にする直前に押しても効果はありません。(灯油気化用ヒーターの予熱に5～6分かかります)
- 再度クイック点火スイッチを押すと解除され、ランプが消灯します。
- クイック点火スイッチを押した状態で24時間放置すると自動的にクイック点火が解除され、クイック点火ランプが点滅します。(クイック点火スイッチをもう一度押すと点滅が消えます)
  ※クイック点火中は約120Wの電力を消費しますので、切り忘れによる電力消費のムダを防止します。
- クイック点火は外出のときなどにお使いいただくと便利ですが、通常のご使用では、節約のため「入タイマー」でご使用になることをおすすめします。
- 運転中にクイック点火スイッチを押しても、クイック点火待機中の消費電力は消費されません。
- クイック点火待機中は製品の上面が暖かくなります。
- クイック点火待機中はクイック点火スイッチが「入」になっていることをお知らせするため、シャッターが開いています。シャッター開閉ボタンで閉じることはできません。(シャッター付機種)

時計合わせのしかた



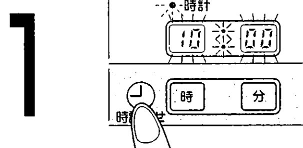
〈条件〉 運転スイッチの「入」・「切」に関係なく時計合わせができます。(タイマー時刻表示中除く)

例】 14時30分に合わせる場合

表示部・操作部

メモ

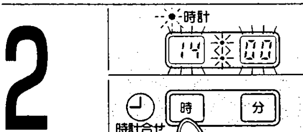
1



時計合せボタンを押す

●時計表示部が点灯します。

2

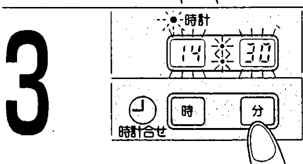


時分合わせボタン「時」を押す

●「14」を表示させる。

● 0～23まで表示可能です。
● 押し続けると連続して変わります。

3

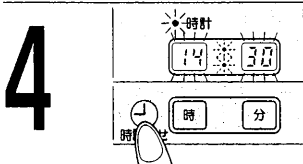


時分合わせボタン「分」を押す

●「30」を表示させる。

● 00～59まで表示可能です。
● 押し続けると連続して変わります。

4



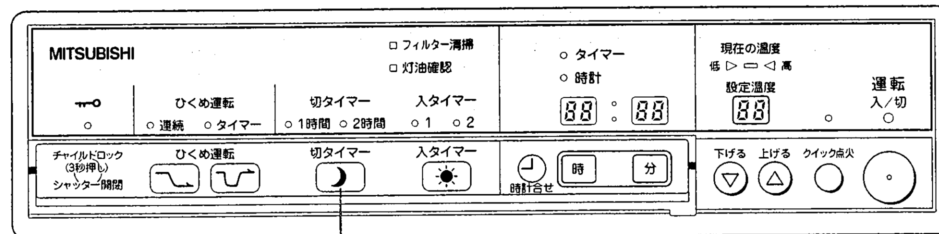
時計合せボタンを押す

●時計がセットされます。
●時計ランプが点灯し、時計表示部中央のコロンが点滅します。

知っ得情報

● 時計セット忘れ防止のために次の処置がされています。
　■ 時計合わせ中に1分間ボタンが押されないとき、表示されている時刻で時計がセットされます。
　■ 時計合わせ中に他のボタンが押されたとき、時計確定され「時」ボタン・「分」ボタンを受付けません。
● 「時」ボタンと「分」ボタンを同時に押すと、[- -]:[- -]を表示し時計合わせされていない状態になります。

「切」タイマー運転のしかた

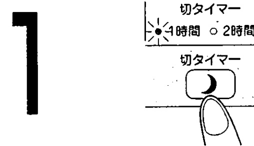


〈条件〉 運転スイッチが「入」になっている。

例】 1時間後に運転を停止する場合

表示部・操作部

1



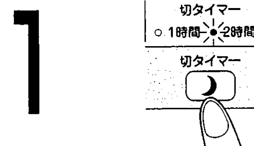
切タイマーボタンを押す

●1時間切タイマーランプが点灯します。

例】 2時間後に運転を停止する場合

表示部・操作部

1



切タイマーボタンを2回押す

●2時間切タイマーランプが点灯します。

メモ

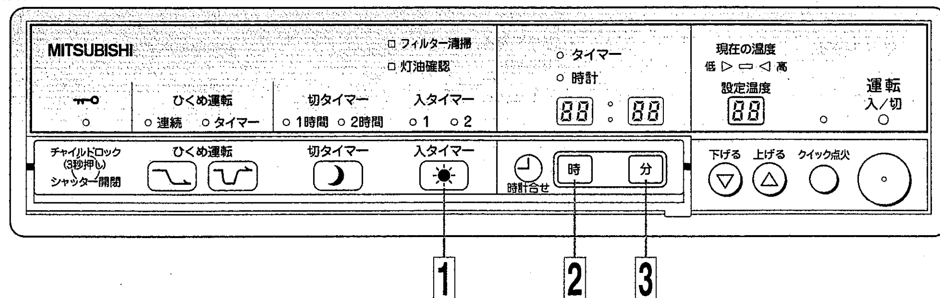
● 切タイマーボタンは押すごとに
1時間後切 → 2時間後切
↖「切」タイマー解除 ↙
と切換わります。
● 運転停止したときは時計表示部に「OFF」を表示します。
● 「切」タイマー解除のときはランプも消灯します。

知っ得情報

● 「切」タイマーが解除されるとき
　■ 運転スイッチが「切」になったとき
　■ ひくめ運転タイマーボタンを押したとき
● 「切」タイマーで運転が停止した後に運転するときは運転スイッチを入れ直してください。

いろいろな使いかた

「入」タイマー運転のしかた

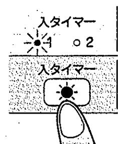


「入」タイマー‥‥何時に暖房運転を開始させるかを決めるタイマーです。
平日と休日、朝と夕のように2通り(1・2)別々の設定ができます。

〈条件〉 運転スイッチが「入」になっている。
時計合わせ完了。

例】 6時30分に設定する場合

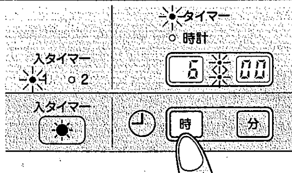
表示部・操作部

1


入タイマーボタンを押す

●入タイマーランプ1が点灯し、入タイマー時刻を表示します。

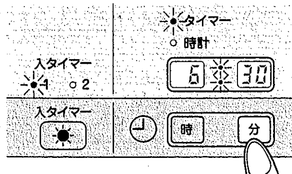
メモ
● 入タイマーボタンは押すごとに
入タイマー1 → 入タイマー2 → 入タイマー解除 → と切換わります。

2


時分合わせボタン「時」を押す

●「6」を表示させる。

● 時計合わせの項参照 16ページ
● 押し続けると連続して変わります。
● 入タイマー1の初期設定は5：00です。
● 入タイマー2の初期設定は7：00です。

3


時分合わせボタン「分」を押す

●「30」を表示させる。

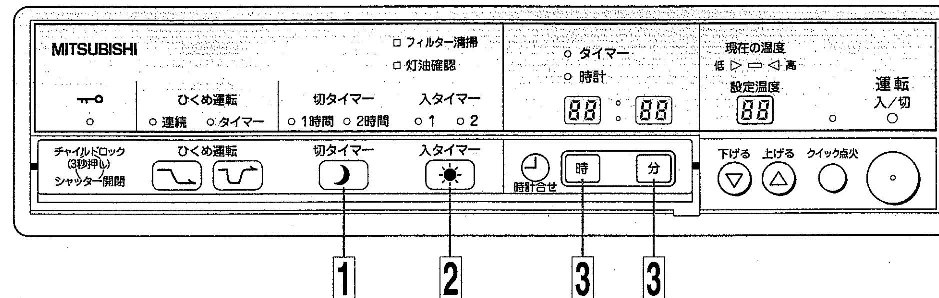
● 1回押すと5分進みます。
● 押し続けると5分ごとに連続して変わります。
● 運転開始時間は1度設定すれば記憶されます。

時計表示部に6:30を表示し一旦運転が停止します。6時30分の少し手前の時刻にウォーミングアップ運転により運転を開始し、6時30分から通常運転になります。 19ページ

知っ得情報
● 時計合わせをしていない状態で入タイマーボタンを押すと、時計合わせ状態になります。
時計合わせを行った後、入タイマーボタンを押してください。

いろいろな使いかた

「切」タイマーと「入」タイマーの併用運転のしかた

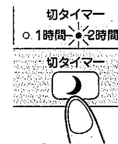


おやすみ前に「切」タイマーで1時間または2時間後に運転停止し、翌朝お目ざめの時間に「入」タイマーでお部屋を暖めるときなどに使用できます。

〈条件〉 運転スイッチが「入」になっている。
時計合わせ完了。

例】 2時間後に運転停止し、8時30分に運転を再開させる場合

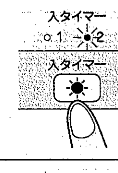
表示部・操作部

1


切タイマーボタンを2回押す

●2時間切タイマーランプが点灯します。

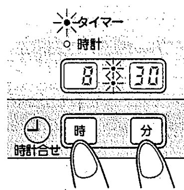
メモ
● 2時間後運転停止したときに「入」タイマー設定時刻8：30を示します。

2


入タイマーボタンを押す

●入タイマーランプ1または2を点灯させる。
(ここでは入タイマーランプ2の場合を示します)

● 「入」タイマー運転のしかた 18ページ

3


時分合わせボタン「時」を押して「8」を表示させる

時分合わせボタン「分」を押して「30」を表示させる。

● 「入」タイマー設定時刻になると通常運転に戻ります。

2時間経過後運転を停止し、「入」タイマー運転になります。

知っ得情報

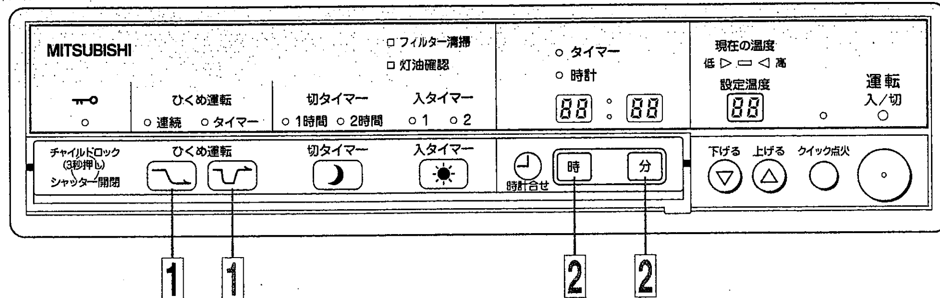
ウォーミングアップ運転とは

「入」タイマー設定時刻の30分前に室温を検知し、その結果により右表のように一定時間早目に低い燃焼量で運転を開始する運転です。

30分前の室温	5℃未満	5℃~15℃未満	15℃以上
運転開始時刻	26分前	16分前	6分前

● 現在時刻から30分以内に「入」タイマー設定時刻が設定されていると、ウォーミングアップ運転は行わず、「入」タイマー時刻に運転を開始します。

ひくめ運転のしかた



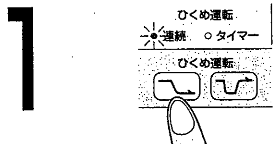
ひくめ運転は、燃焼量を少し低めに制限することで、運転音をおさえた運転を行います。
連続運転とタイマー運転が選択できますので、就寝中の暖房におすすめします。

ひくめ運転 連続の場合

〈条件〉運転スイッチが「入」になっている。

表示部・操作部

1



ひくめ運転連続ボタンを押す

●ひくめ運転連続ランプが点灯します。
●通常運転の設定温度が表示されますが変更することができます。

メモ
- 「切」タイマー・「入」タイマーとの併用運転ができます。
- もう一度ひくめ運転連続ボタンを押すと解除され通常運転に戻ります。

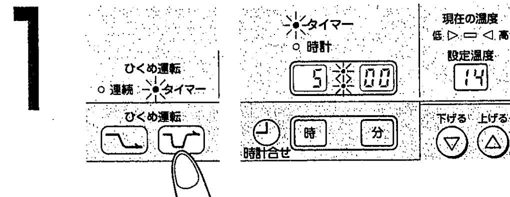
ひくめ運転 タイマーの場合

…例】 7時30分までひくめ運転を行う

〈条件〉運転スイッチが「入」になっている。
時計合わせ完了。

表示部・操作部

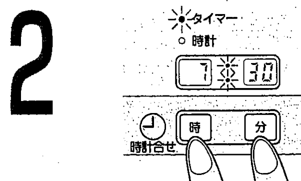
1



ひくめ運転タイマーボタンを押す

●ひくめ運転タイマーランプが点灯します。
●ひくめ運転解除時刻5：00（初期設定）を表示します。
●初期設定温度は14℃を表示します。

2



時分合わせボタン「時」を押して「7」を表示させる。

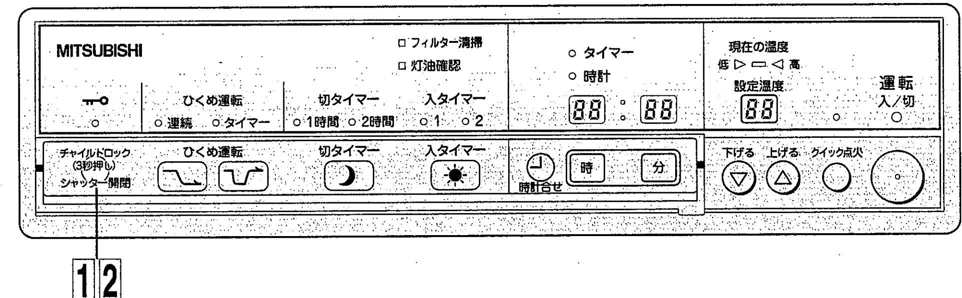
時分合わせボタン「分」を押して「30」を表示させる。

メモ
- 7時30分までひくめ運転を続け、その後通常運転に戻ります。

ひくめ運転のしかた／チャイルドロックについて

知っ得情報
- ひくめ運転タイマーと「切」タイマー・「入」タイマーは併用運転できません。
「切」タイマー・「入」タイマーがセットされた時点でひくめ運転は解除されます。
- ひくめ運転の設定温度は30℃まで設定できますが、燃焼量を少し低めに制限した運転をしますので室温は設定温度まで上がらないことがあります。
- 運転スイッチを「切」にすると「ひくめ運転連続」・「ひくめ運転タイマー」は解除されます。

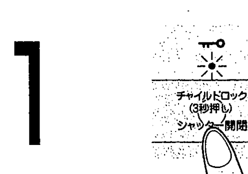
チャイルドロックについて



子供のいたずら防止等にチャイルドロックをかけるとボタンに触れても受付けません。
（運転スイッチとクイック点火ボタンを除く）
VKB-501LD,631LDの場合、チャイルドロックボタンはシャッター開閉ボタンと同じです。

表示部・操作部

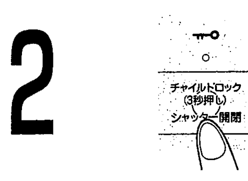
1



チャイルドロックボタンを3秒以上押し続ける

●チャイルドロックランプが点灯します。

2

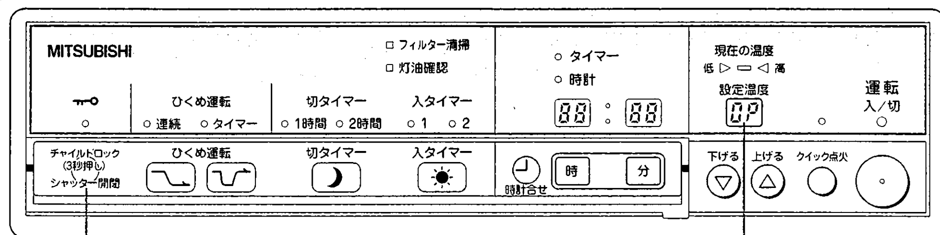


解除するには チャイルドロックボタンを3秒以上押し続ける

●チャイルドロックランプが消灯します。

メモ
- ロックがかかるもの
  - ●ひくめ運転
  - ●「切」タイマー
  - ●「入」タイマー
  - ●時計
  - ●設定温度
  - ●シャッター開閉
- ロックがかからないもの
  - ●運転スイッチ
  - ●クイック点火ボタン
- 運転スイッチが「切」の状態で3秒以内に手を離すとシャッターが開きます。チャイルドロックにはなりません。

シャッターの使いかた(VKB-501LD VKB-631LD)／停電のとき

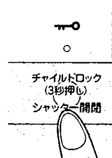


シャッター開閉‥‥お手入れなどのためにに停止中にシャッターを開閉することができます。

シャッター開閉ボタンはチャイルドロックボタンと同じです。

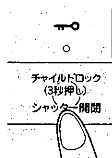
〈条件〉運転スイッチとクイック点火スイッチがともに「切」になっている。

表示部・操作部



1 シャッター開閉ボタンを押す

●自動的に開きます。
●設定温度表示部に「OP」を表示します。

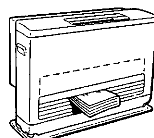


2 もう一度シャッター開閉ボタンを押す

●自動的に閉じます。

メモ

● シャッター開閉ボタンは3秒以上押し続けるとチャイルドロックがかかります。
● シャッターに物をはさまない。



(故障の原因になります)

知っ得情報

シャッターは次のとき開いたままになります。(シャッター開閉ボタンで閉じることはできません)

● 運転スイッチまたはクイック点火スイッチが「入」のとき
●「切」タイマー運転により、運転を停止した後(運転スイッチが「入」状態のため)
●「入」タイマー運転の待機中のとき(運転スイッチが「入」状態のため)

停電のとき

停電または電源プラグを抜いたときは時計合わせを行ってください。再通電後は時計表示が点滅しています。(ただし、運転スイッチまたはクイック点火スイッチが「入」のときは、「E-00」表示とともに「入」となっているスイッチの表示ランプが点滅しています。運転スイッチ、クイック点火スイッチをともに「切」とし、「E-00」表示が時計表示の点滅に変わったのを確認してから時計合わせを行ってください)

次の設定は停電前の設定を記憶しています。
●設定温度 ●入タイマー1、2の時刻 ●ひくめ運転の設定温度とタイマー時刻

日常の点検・手入れ

点検・手入れのときの注意

●必ず運転スイッチを「切」にして運転を停止し、製品が冷えた状態で行ってください。
●お手入れの際はけが防止のために手袋の着用をおすすめします。

■シーズンはじめ

●給気ホース・排気筒
1.背面カバー上板をはずして、給気ホース・排気筒の接続箇所がはずれていないか確認する。
2.排気筒と可燃物(壁など)との離隔距離を確認する。…… 31ページ

●給排気筒トップ
屋外の給排気筒トップ先端がくもの巣やビニール袋などでふさがれていないか点検する。

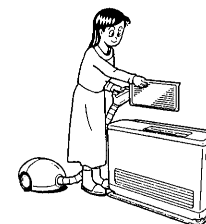
●定油面器リセット
リセットレバーを下げる。…… 13ページ

●時計合わせ
時計合わせのしかたにより設定する。…16ページ

■1週間に1回程度

●エアーフィルターの清掃
エアーフィルターを、図のように取りはずし、掃除機などでほこりを取り除く。

温風吹出口から風が出ていないことを確認してから行う。送風中に行うと本体内部にほこりが入ることがあります。



■使用のたびに

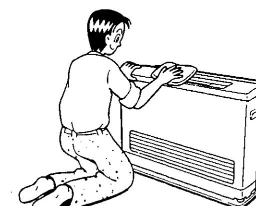
●排気ガス
排気ガスのにおいや、目がチカチカしないか点検する。排気ガスが室内に漏れていると一酸化炭素中毒の恐れがあり非常に危険です。

●油漏れ、油のたまり、油のにじみ
ゴム製送油管や置台に油漏れ、油のたまり、油のにじみがないか点検する。

●周囲の可燃物・引火物
本体の上や周囲・給排気筒トップの周辺に可燃物、引火物がないか点検する。

■1か月に1回以上

●外観の清掃
製品外観・置台・温風吹出口などの汚れは乾いたやわらかい布などできれいにふきとる。
シンナー・アルコール・ベンジンなどは使用しないでください。



日常の点検・手入れ

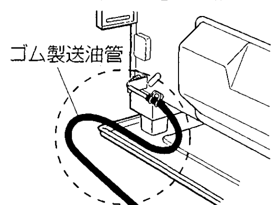
■1シーズンに2～3回

●ゴム製送油管

ひび割れがないかを確認する

ゴム製送油管は劣化することにより、ひび割れが生じ油漏れの原因になります。ひび割れがなくても3年に1度必ず新しいゴム製送油管に交換してください。

交換はお買上げの販売店またはお近くの「三菱電機 修理窓口・ご相談窓口」にご相談ください。



ひび割れが生じていないか確かめる

●ろ網

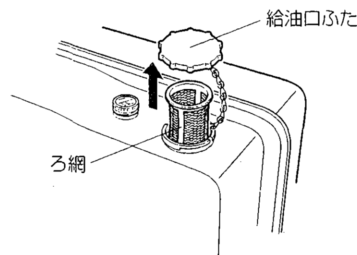
灯油で洗う

1 給油口ふたをはずす

2 ろ網を取りはずす

3 きれいな灯油で洗う

4 元通り、ろ網と給油口ふたを取付ける

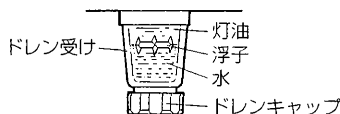


[お願い]	水では洗わないでください。

●油タンクの水抜き

油タンク内に水が入るとドレン受け内の浮子が浮き上がって水が入ったことをお知らせします。

・浮子は灯油と水の中間の比重でできており、浮子より下側が水です。
・浮子が中ほどまで浮き上がったら水抜きをする。



1 ドレン受けの下に大きめの容器を置く

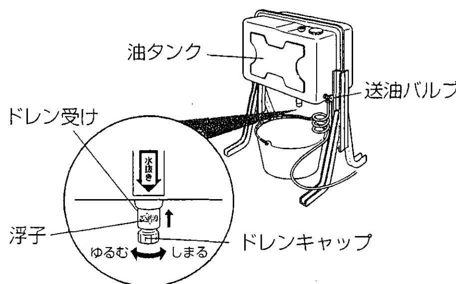
2 ドレンキャップを半回転ほどゆるめると水が出ますので2～3秒後に一度閉める

・ドレンキャップは取りはずさないでください。(取りはずすと油タンク内の灯油が大量に出てしまいます)
・浮子がドレン受けの底に沈めば水がすべて抜けています。

3 浮子がまた浮き上がる(水が完全に抜けていない)場合は、もういちど2項の操作を行う

・浮子がドレン受けの底に沈むまでこの操作を行う

4 水が抜けたらドレンキャップを元通りしっかり締め付ける



定期点検



使用される場所や条件、また使用時間により消耗・劣化する部品があります。
専門技術者〔(財)日本石油燃焼機器保守協会(☎03-3499-2928)で行う技術管理講習会修了者(石油機器技術管理士)など〕のいる店で定期点検を受けてください。
安全にお使いいただくために製品の状態を点検診断するものですから必ず受けてください。

いつ
2シーズン毎
ただし、条件により1シーズン毎の点検が必要となる場合もあります。
湿度の高いところ
ほこりの多いところ(厨房・製綿工場など)
温泉地域などでご使用の場合

どこへ
お買上げになった販売店
またはお近くの「三菱電機 修理窓口・ご相談窓口」へ

費用
お買上げの販売店にご相談ください。
定期点検の結果、部品交換や修理等が必要な場合は、処置内容と費用についてお客さまにご相談申しあげます。

内容

定期点検の内容	項目
据付け状態、給排気回りの点検・確認	●製品の据付け・使用状態 ●給排気筒の接続とつまり ●送油経路部の油漏れ ●給排気筒トップのつまり
安全装置および運転動作の点検・確認	●安全装置の働き ●操作部品や動く部品の働き ●運転動作の点検
環境・使用時間により劣化しやすい部品の点検・交換	●給排気系部品、電気接点部品などの点検 ●点火電極、炎検知器などの点検 (劣化の状態により交換の場合もあります)
製品の清掃・整備	●本体内部 ●油タンクの水抜き ●温風吹出口

地震などの災害が発生したときの点検

☆地震などにより製品に振動、衝撃が加わったときは、運転をする前に必ず次の点検を実施してください。
点検内容
●給排気回りのはずれ、漏れの確認
●送油経路部の油漏れ確認
☆点検で異常が見つかったときや、点検したのち使用しているときに排気ガスのにおいがしたり、目がチカチカするときは使用を中止してお買上げの販売店またはお近くの「三菱電機 修理窓口・ご相談窓口」へ修理依頼してください。

故障・異常の見分けかたと処置方法

■表示ランプにより異常をお知らせします

表示	原因	処置方法
運転ランプが点灯しない	電源プラグがコンセントから抜けている	電源プラグをコンセントに確実に差し込む
	温風吹出口がしゃ閉されて、**過熱防止装置**が作動している	温風吹出口のしゃ閉物を取り除く
	異常過熱防止装置が作動している	お買上げの販売店にご相談ください
	異常着火検知装置が作動している	
フィルター清掃ランプが点滅する	エアーフィルターにほこりがつまっている	エアーフィルターを清掃する
	温風吹出口がしゃ閉されている	温風吹出口のしゃ閉物を取り除く
E－00	**停電安全装置**が作動した	運転スイッチを押し直し、時計を合わせる ……16ページ クイック点火スイッチが「入」になっていたら一旦「切」にしてから行ってください
	温風吹出口がしゃ閉されて**過熱防止装置**が作動した	温風吹出口のしゃ閉物を取り除き運転スイッチを押し直し、時計を合わせる ……16ページ クイック点火スイッチが「入」になっていたら一旦「切」にしてから行ってください
灯油確認ランプが点滅する E－01 （**点火安全装置・燃焼制御装置**）	定油面器がセットされていない	定油面器をセットする ……13ページ
	給油アタッチメントの送油コック・フィルター付コック・油タンクの送油バルブが閉まっている	閉められいてるバルブおよびコックを開く
	油タンクに油がない	給油する ……12ページ
	油タンクに水が入っている	油タンクの水抜きをする ……24ページ
	配管途中に凹凸配管がある	凹凸配管をなくす
	フィルター付コックにゴミが詰まって油が流れない	掃除をする
	給排気筒トップの先端がふさがれている	先端のしゃ閉物を取り除き運転スイッチを押し直す
	油タンク据付け高さが規定外である	お買上げの販売店にご相談ください
E－06	電源に異常がありませんでしたか？	電源プラグをコンセントに確実に差し込み直してください
E－13	異常燃焼している （**異常燃焼検知装置**の作動）	給排気筒トップの給気口・排気口が異物でふさがれていないか確認し、異物を取り除いてから運転スイッチを押し直してください

表示	原因	処置方法
E－16	シャッターに障害物などがあたり正常に作動していない	障害物を取り除き運転スイッチを押し直してください
E－17	強い地震や衝撃を受けていませんか？	『地震などの災害が発生したとき』の点検項目を確認し運転スイッチを押し直す ……25ページ
	対震自動消火装置が作動した	
E－02	マイコン故障	電源プラグを抜き、お買上げの販売店に表示の内容をご連絡ください
E－03　E－04	ヒーター回路故障	
E－05	炎検知回路故障	
E－07	温風センサー故障	
E－08	ポンプ回路誤動作	
E－14	燃焼ファン回転数異常	
E－09	排気筒がはずれていませんか？ 古い排気筒で延長排気していませんか？ 排気筒の接続部にストッパーはつけられていますか？ 排気筒はずれ検知リードは正しく取付けられていますか？	お買上げの販売店にご連絡ください

※ **運転スイッチを押し直す処置方法で、クイック点火ランプが点滅している場合は、クイック点火スイッチを切りにした後、運転スイッチを押し直してください。**

こんな症状のときは

使用を中止しお買上げの販売店に修理依頼してください。

症状	予測される故障
燃焼確認窓が『すす』で汚れて炎がみえない	不完全燃焼をしている
使用中に『ボーン』という大きな音がする	部品が故障している
排気ガスのにおいがしたり、目がチカチカする	排気ガスが室内にもれている

■故障かな？ 次の症状は故障ではありません

	症状	原因
点火時	すぐ点火しない	予熱時間約5～6分必要です クイック点火を使用すれば約30秒で点火します
	ピシッピシッと音がする ゴツンというような音がする	燃焼器の熱伸縮音がすることがありますが異常ではありません
	運転スイッチ『入』でなかなか点火しない	室内温度が設定温度より高いと点火しません 設定温度を上げてください

故障・異常の見分けかたと処置方法

■故障かな？ 次の症状は故障ではありません

	症状	原因
燃焼時	室温調節がうまくいかない	●家屋の構造や据付け状況によっても部屋の温度と異なることがあります。 ●温度調節がうまくいかない場合は背面カバーに取付けてある壁サーモカバーを上方にスライドしてはずし、温風、直射日光や冷風の影響を受けない場所に木ネジまたは、両面テープで固定してください。 ●サーモリード線は無理に引っ張らないでください。
燃焼時	部屋が暖まらない	ひくめ運転になっていませんか ひくめ運転は、燃焼量を少し低めに制限して運転しますので、設定温度まで上がらない場合があります
燃焼時	設定温度調節などができない	チャイルドロックがかかっていませんか チャイルドロックを解除してから操作してください
燃焼時	ときどき黄色の炎が見える	弱燃焼のときなどに発生することがありますが、異常ではありません
燃焼時	5分に一回程度温風が変化する	燃焼制御装置が働いているためです
消火時・その他	ピシッピシッと音がする ゴツンというような音がする	燃焼器の熱伸縮音がすることがありますが異常ではありません
消火時・その他	運転スイッチ『切』で送風が止まらない	燃焼余熱で本体が暖かいためしばらくすると送風が止まります
消火時・その他	運転スイッチ『切』でシャッターが閉まらない（シャッター付）	燃焼余熱で本体が暖かいためしばらくすると送風が止まり、シャッターが自動的に閉まります
消火時・その他	運転スイッチ『切』でシャッターが閉まらない（シャッター付）	クイック点火スイッチが『入』になっているときはシャッターは閉まりません
消火時・その他	時刻表示が進む	同一電源を使用している機器がノイズを発生していませんか ノイズを発生している機器を取り除くなどのノイズ対策を行ってください

以上のことをお調べになって、それでも不具合があるときは使用を中止し、必ず電源プラグを抜いてください。その後お買上げの販売店にご相談ください。

部品交換のしかた

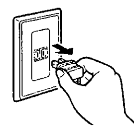
長期間のご使用で、消耗、劣化しやすい部品があります。
お買上げの販売店、またはお近くの「三菱電機 修理窓口・ご相談窓口」にお問い合わせください。
専門技術者〔(財)日本石油燃焼機器保守協会で行う技術管理講習会修了者（石油機器技術管理士）など〕のいる店で修理いたします。不完全な修理は危険です。

■消耗、劣化しやすい部品

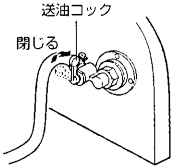
- ●各種パッキン、排気筒接続用Oリング「呼びP34（JIS B2401 4種D）」
- ●点火電極、炎検知器（フレームロッド）など
- ●給排気系部品
- ●バーナー
- ●電磁ポンプ
- ●燃焼系部品
- ●ゴム製送油管（3年に1度必ず新品と交換してください）

保管（長期間使用しない場合）

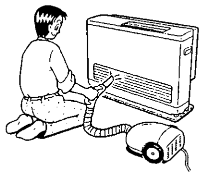
■長期間使用しないとき（シーズン終了時）は、次の要領でお手入れしてください。
製品は据付けたままにしてください。



1 電源プラグをコンセントから抜く。



2 油タンクの送油バルブおよび給油アタッチメントの送油コックを「閉」にする。
- ●油タンク内に水が入っている場合は、水抜き（24ページ参照）を行い、残った灯油はそのまま油タンク内に保管してください。
- ●ゴム製送油管の劣化による油漏れを防止するため、必ず送油コックを閉めてください。



3 製品外観、エアーフィルター、温風吹出口の掃除をする。

[お願い]	●どうしても取りはずして保管するときは湿気やほこりの少ないところに保管してください。 再び据付けるときは必ずお買上げになった販売店に依頼してください。 お客さまご自身では、据付工事をしないでください。 ●製品内部の清掃は必ずお買上げの販売店に依頼してください。

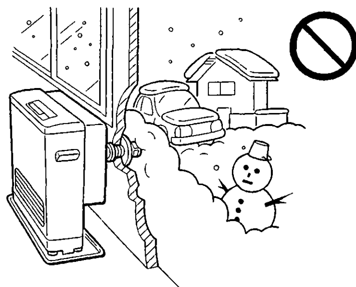
据付場所の選定

製品の据付けは販売店・工事店が火災予防条例などに基づき実施していますが据付工事完了後、販売店・工事店とともにお客さまご自身でもご確認ください。

⚠警告

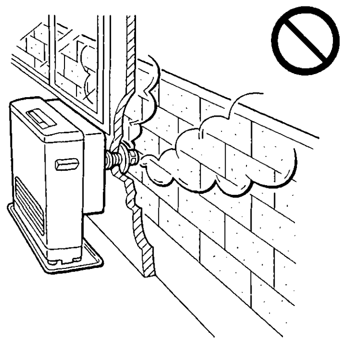
積雪の多い地方では、給排気筒トップが雪でふさがれないように注意してください。

厳寒地域では給排気筒トップにつららがつくことがありますので注意してください。

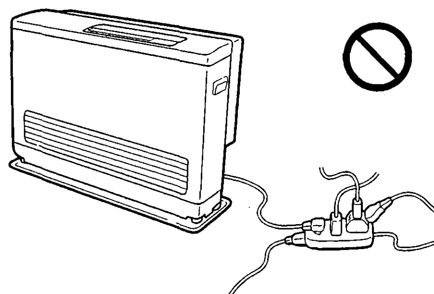


[お願い]

排気ガスがよどまないか確認してください。
排気ガスを再度吸い込んで不完全燃焼を起こすことがあります。



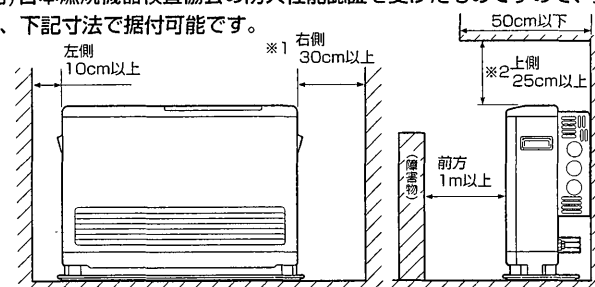
タコ足配線で使わないでください。
電源コンセント(単相100V)は専用でお使いください。



製品と周囲との距離

製品を据付ける場合は、石油燃焼機器の設置基準〔(財)日本石油燃焼機器保守協会〕で決められている下図の可燃物との距離を必ずとってください。
アフターサービス、定期点検、更に給排気回りの点検を行うためにも必要です。

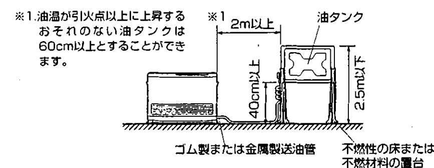
この製品は(財)日本燃焼機器検査協会の防火性能認証を受けたものですので、上側60cm以上の制限を受けず、下記寸法で据付可能です。



本体後面の空間距離は「10cm以上」必要です。本体付属の背面カバーで「10cm以上」が確保できます。背面カバーが壁面に密着していることを確認してください。

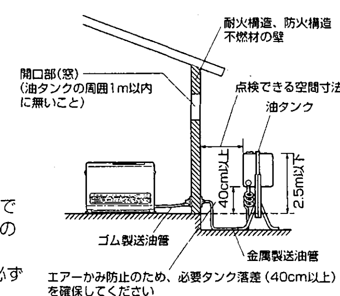
※1. 左側・上側のいずれかで、裏面点検のため30cmが確保できる場合は、10cmまで近接可能です。
※2. 中折れフィルター(VGZ-17FT)を使用すれば、15cmまで近接可能です。

油タンク(200ℓ未満)を屋内に据付ける場合

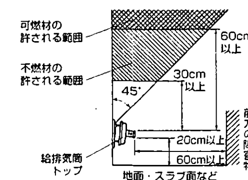


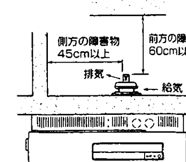
付属のゴム製送油管が短くストーブと油タンクとの離隔距離が確保できなかったり、給油コックに接続できない場合は、当社サービス部品の給油ホース3m品(M45508260)をご使用ください。
油タンクはアンカーボルトで床に固定するなど、転倒防止の処置を必ず行ってください。

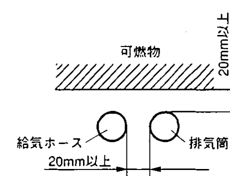
油タンク(200ℓ未満)を屋外に据付ける場合



排気筒と可燃物の離隔距離







据付け

据付工事後の確認

据付工事終了後に販売店・工事店とともにお客さまご自身でも下表に基づき点検してください。

点検箇所	点検項目	チェック結果
製品	製品の回りは必要な空間がありますか。	
	床面の不安定な場所に据付けてありませんか。	
	丈夫な床面に製品が固定してありますか。	
	製品・ゴム製送油管から油漏れはありませんか。	
	ゴム製送油管を屋外で使用していませんか。（屋外は金属配管）	
	ゴム製送油管が排気部品に触れていませんか。また、送油管に急激な曲がりはありませんか。	
	標高調節は正しく行われていますか。	
油タンク	油タンクや送油管から油漏れはありませんか。	
	油タンクの据付けは基準寸法が守られていますか。	
給排気部品	給排気筒トップの周囲は基準寸法が守られていますか。	
	排気筒は壁や給気ホースなどの可燃物から20mm以上離れていますか。	
	給排気筒のはずれ・ゆるみがありませんか。	
	排気ガスが屋外へ排気されるようになっていますか。	
	給排気筒トップの取付けが屋外に向って下り勾配になっていますか。	
	給排気筒トップの周囲に障害物(樹木・愛がん動物・雪のふきだまり)はありませんか。	
	給排気筒トップの周囲に危険物(灯油・ガソリン・プロパンガス)はありませんか。	
	トップフードが必ず取付けられていますか。	
	トップフードの給気口・排気口が異物でふさがっていませんか。	
	集合煙突に給排気筒を取付けた工事はされていませんか。	
延長工事	床下・天井裏へ給排気してありませんか。	
	壁埋込みの配管工事はしてありませんか。	
	排気筒の長さは給気ホースに比べ極端に長くなっていませんか。	
	給気ホース・排気筒の長さは3m以内で曲がり数3箇所以内ですか。	
	排気筒の途中に水がたまるようなへこみ部はありませんか。	
	排気筒の延長立上げ寸法は1.8m以下になっていますか。	
	古い排気筒を使用していませんか。	
電気配線	電源プラグはコンセントに確実に差し込まれていますか。	
	電源コードは高温部に触れていませんか。	
	電源コンセントは電源プラグの抜き差しが容易な位置にありますか。	
	ノイズの影響を受けやすいテレビやビデオなどと同じコンセントで使用していませんか。	
排気筒はずれ検知リード	排気筒はずれ検知リードは、給排気筒トップに接続されていますか。	
	排気筒はずれ検知リードは、給気ホースにそって固定されていますか。	

上記が守られていないと火災・不完全燃焼などをおこすおそれがありますので、販売店・工事店に正しい処置をご依頼ください。

試運転

試運転は、販売店・工事店と立合いで行ってください。
運転手順、異常時の処置方法について販売店・工事店より説明を受けてください。

■運転準備

1 油タンクに給油する。

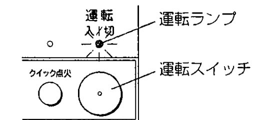
2 油タンクの送油バルブを「開」にする。

3 給油アタッチメントの送油コックを「開」にする。

4 定油面器のリセットレバーを下へ1回下げて、元の位置に戻ることを確認する。

5 電源プラグをコンセント(単相100V)に確実に差し込む。

■運転開始と停止の手順



1 **運転スイッチを押して「入」にする。**
運転ランプが点灯し、数分後に燃焼を開始し、温風がでます。その状態で約15分間運転して異常表示が出ないか確認してください。

2 **再度運転スイッチを押して「切」にする。**
運転ランプが消灯し、しばらくして本体が冷えると運転が停止します。

お知らせ

●室内温度が30℃以上ある場合に試運転するときには設定温度調節ボタン (上げる △) を5秒以上押し続けて「H」を表示させると最大燃焼量で連続運転を行います。

●連続運転は自動的に約10分間で解除されますが、(下げる ▽) スイッチか運転スイッチを「切」にしても解除できます。

■初期運転時の現象

●初期運転時や燃料切れの際、ボッボッと音をたてて燃焼することがありますが、故障ではありません。

●温風吹出口から煙やにおいが出ることがありますが、燃焼器に付着した油やほこりが焼けるためで異常ではありません。

●試運転は部屋の換気をしながら行ってください。

■正常運転の目安

●正常運転の目安として、26～28ページのような現象がないことを確認ください。

保証とアフターサービス

修理・取扱い・お手入れなどのご相談は
まず、お買上げの販売店へお申し付けください。

転居や贈答品などでお困りの場合は右一覧表で
●修理のお問合わせは 「修理窓口」へ
●その他のお問合わせは「ご相談窓口」へ

保証書(別添付)について

■保証書は、必ず「お買上げ日・販売店名」などの記入をお確かめのうえ、販売店からお受取りください。
■内容をよくお読みのあと、大切に保存してください。

保証期間…お買上げ日から1年間。
（ただし、燃焼器部分については3年間です。）

補修用性能部品の保有期間は

■当社は、この三菱クリーンヒーターの補修用性能部品を製造打切り後10年保有しています。
■補修用性能部品とは、その製品の機能を維持するために必要な部品です。

修理を依頼されるときは

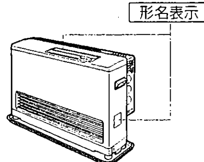
「故障かな？」と思ったら(26～28ページ)にしたがってお調べください。なお、不具合があるときは、運転スイッチを切り、必ず電源プラグを抜いてから、お買上げの販売店にご連絡ください。

■保証期間中は
修理に際しては、保証書をご提示ください。
保証書の規定にしたがって販売店が修理させていただきます。

■保証期間がすぎているときは
修理すれば使用できる場合には、ご希望により修理させていただきます。
修理料金は、技術料＋部品代(出張料)などで構成されています。

■ご連絡いただきたい内容

1. 品名クリーンヒーター
2. 形名
3. お買上げ年･月･日
4. 故障内容
   できるだけ具体的に
5. 住所･名前･電話番号
   付近の目印なども



三菱電機 修理窓口・ご相談窓口のご案内（家電品）

修理・取扱いのご相談は
まずお買上げの販売店へ

転居や贈答品などでお買上げの販売店へご依頼できない場合は

修理のお問合わせは ⇒ **修理窓口へ**
その他のお問合わせは ⇒ **ご相談窓口へ**

修理窓口 電話受付：365日24時間

北海道地区

札幌	(011) 890-7520	札幌市厚別区大谷地東 2-1-18
旭川	(0166) 26-5580	旭川市曙1条 8-1-4
北見	(0157) 25-7045	北見市柏陽町 577-60
釧路	(0154) 24-1355	釧路市喜多町 2-25
帯広	(0155) 35-3111	帯広市西15条南 14-1
苫小牧	(0144) 55-1114	苫小牧市明野新町 2-1-18
小樽	(0134) 33-3380	小樽市緑 2-28-22
函館	(0138) 49-0345	函館市西桔梗町 589-57

東北地区

青森	(017) 773-8381	青森市大字野木字野尻 37-184
弘前	(0172) 32-6535	弘前市大字青山 4-20-3
八戸	(0178) 28-8544	八戸市大字長苗代字下亀子谷地 6-8
盛岡	(019) 637-7454	盛岡市羽場13地割 30-11
水沢	(0197) 25-4511	水沢市卸町 2-3
釜石	(0193) 23-4611	釜石市定内町 3-10-1
仙台	(022) 238-1773	仙台市若林区大和町2-18-23
気仙沼	(0226) 23-8485	気仙沼市田中前 2-9-2
石巻	(0225) 95-9111	石巻市門脇字四番谷地 16-268
古川	(0229) 24-3595	古川市米袋字大窪 25-1
秋田	(018) 865-4471	秋田市八橋三和町 19-36
横手	(0182) 32-1785	横手市卸町 3-2
大館	(0186) 42-2781	大館市餅田 2-5-44
山形	(023) 624-0018	山形市大野目 2-1-21
鶴岡	(0235) 24-6161	鶴岡市上畑町 5-4
郡山	(024) 959-6543	郡山市喜久田町卸 1-76-1
会津	(0242) 27-4426	会津若松市天寧寺町 3-7
原町	(0244) 24-2842	原町市桜井町 1-173
いわき	(0246) 26-1822	いわき市内郷御台境町鶴巻 75-8

K03A

首都圏地区

東京都・神奈川県・千葉県
茨城県・埼玉県・栃木県・群馬県

フロントセンター東京
電話 (03) 3424-1111
FAX (03) 3424-1115
東京都世田谷区池尻 3-10-3

甲信越地区

新潟	(025) 274-9165	新潟市竹尾卸新町 752-9
長岡	(0258) 23-3323	長岡市南陽 1-1118-1
上越	(025) 524-1160	上越市春日山町 3-6-3
長野	(026) 221-3232	長野市稲葉 904
松本	(0263) 27-2461	松本市芳川野溝 531
飯田	(0265) 52-5396	飯田市上郷別府 3367-1
山梨	(055) 222-2711	甲府市下飯田 1-4-11

東海・北陸地区

愛知県・三重県

フロントセンター名古屋
電話 (052) 721-0131
FAX (052) 721-7268
名古屋市東区矢田南5-1-14

沼津	(055) 922-7111	沼津市若葉町 20-1
静岡	(054) 284-0821	静岡市中原 913
浜松	(053) 463-8455	浜松市上西町 62-5
岐阜	(058) 275-0909	岐阜市中鶉 3-24
中津川	(0573) 65-6646	中津川市駒場字町裏 526-2
高山	(0577) 33-7410	高山市冬頭町 981-5
富山	(0766) 56-0121	射水郡小杉町青井谷 1-1-1
金沢	(076) 252-8133	金沢市小坂町西 97
福井	(0776) 22-6340	福井市問屋町 1-19

関西・中国・四国地区

大阪府・奈良県・和歌山県
兵庫県・京都府・滋賀県・広島県
山口県・島根県・鳥取県・岡山県
香川県・徳島県・高知県・愛媛県

フロントセンター関西
電話 (06) 6454-3901
FAX (06) 6454-3900
大阪市北区大淀中 1-4-13

九州地区

福岡	(092) 412-5333	福岡市博多区東那珂 3-1-21
北九州	(093) 653-1231	北九州市八幡東区昭和 2-5-25
佐賀・久留米	(0942) 45-2661	久留米市東合川新町 7-20
唐津	(0955) 72-1337	唐津市東城内 6-50
長崎	(095) 843-0622	長崎市大橋町 23-4
佐世保	(0956) 30-7740	佐世保市木原町 155-1
熊本	(096) 380-0211	熊本市石原町 326-1
八代	(0965) 33-5173	八代市緑町 13-1
大分	(097) 558-8803	大分市向原西 1-8-1
宮崎	(0985) 56-4900	宮崎市大字赤江字飛江田150-1
延岡	(0982) 21-3540	延岡市惣領町 25-5
鹿児島	(099) 260-2421	鹿児島市卸本町 7-17
沖縄	(098) 898-3333	宜野湾市大山 7-12-1

ご相談窓口

購入・買替えのご相談、取扱い方法のお問合わせは
三菱電機お客さま相談センター 受付時間 365日 24時間
〒154-0001 東京都世田谷区池尻 3-10-3
■全国どこからでも おかけいただけるフリーコール
0120-139-365（無料）
いつも サンキュー 365日
■通常電話番号（携帯電話対応）03-3414-9655
■FAX 03-3413-4049

当社家電品についてのご相談やご要望は
地区お客さま相談室（月～金曜日 9：00～17：00 祝祭日を除く）

北海道	(011) 893-1313	〒004-0041	札幌市厚別区大谷地東 2-1-11
東北	(022) 231-8282	〒983-0035	仙台市宮城野区日の出町 2-2-33
首都圏	(03) 3414-9722	〒154-0001	東京都世田谷区池尻 3-10-3
中部	(052) 972-7222	〒461-0005	名古屋市東区東桜 1-4-3
北陸	(076) 252-1356	〒920-0811	金沢市小坂町西 81
関西	(06) 6451-3611	〒531-0076	大阪市北区大淀中 1-4-13
中国	(082) 278-1322	〒733-0833	広島市西区商工センター 6-2-17
四国	(087) 879-1190	〒761-1705	香川郡香川町大字川東下 717-1
九州	(092) 571-2211	〒816-0088	福岡市博多区板付 4-6-35

●所在地、電話番号などについては変更になることがありますので、あらかじめご了承願います。

K03A

仕様

型式の呼び		VKB-631L, 631LD		VKB-501L, 501LD	
種類		気化式・強制対流形・強制給排気形			
点火方式		高圧放電点火・自動点火			
使用燃料		灯油(JIS1号灯油)			
暖房出力	最大	6.08kW		4.82kW	
	最小	2.22kW		1.98kW	
発熱量および熱効率	最大	26110kJ／h 83.8%		20590kJ／h 84.3%	
	最小	9220kJ／h 86.6%		8220kJ／h 86.6%	
燃料消費量	最大／最小	0.705／0.249L／h		0.556／0.222L／h	
暖房のめやす	温暖地	木造16畳(26.5m²)まで	コンクリート22畳(36.5m²)まで	木造13畳(21.5m²)まで	コンクリート17畳(28.0m²)まで
	寒冷地	木造16畳(26.5m²)まで	コンクリート25畳(41.5m²)まで	木造13畳(21.5m²)まで	コンクリート20畳(33.0m²)まで
外形寸法(置台を含む)		高さ535mm、幅780mm、奥行き260mm			
質量		24kg(LDタイプは24.5kg)		23.5kg(LDタイプは24kg)	
電源電圧および周波数		100V 50／60Hz			
定格消費電力	最大消費電力	(点火時) 530／530W		(点火時) 530／530W	
	燃焼時消費電力	43／48W		36／35W	
給排気筒の型式の呼び		VGZ-22UGT$_2$-N			
給排気筒呼び径		D34			
給排気筒壁貫通部孔径		65mm			
排気温度		260℃以下			
電流ヒューズ		10A・3A			
温度ヒューズ		192℃		172℃	
安全装置		対震自動消火装置、過熱防止装置、点火安全装置、燃焼制御装置、停電安全装置			
その他の装置		異常過熱防止装置、異常着火検知装置、排気筒はずれ検知装置、異常燃焼検知装置			
付属品		●置台 1個 ●給排気筒トップ取付ネジ 3本 ●室内傾斜フランジ 1個 ●絶縁パイプ 1個 ●室外傾斜フランジ 1個	●室内傾斜フランジ取付ネジ 3本 ●給気ホースバンド 1個 ●コードバンド 2本 ●壁固定部品 2個 ●床固定金具 2個	●固定金具取付ネジ 4本 ●固定金具取付びょう(畳用) 2本 ●ゴム製送油管(締付金具2個付) 1本 ●延長排気用外れ検知リード線 1本 ●床固定取付ネジ 2本	●トップフード 1個 ●壁厚対応スペーサー 3個

愛情点検

★長年ご使用のクリーンヒーターの点検を！

ご使用の際このような症状はありませんか。		使用中止	
	●排気パイプがはずれている。 ●臭いがしたり、目がチカチカする。 ●本体後部の壁がススで汚れている。 ●燃焼確認窓がススで汚れて炎が見えない。 ●点火しない。使用中炎がたびたび消える。 ●運転中に「ボーン」という大きな音がする。 ●その他の異常・故障がある。		故障や事故防止のため、スイッチを切り、電源プラグを抜いてから必ず販売店に点検・修理をご相談ください。

三菱クリーンヒーターを廃棄処分される場合は、本体内の灯油を抜きとってから行ってください。

形名	
お買上げ年月日	
お買上げ店名 (住所) (電話番号)	

三菱電機株式会社

群馬製作所 〒370-0492 群馬県新田郡尾島町岩松800

この説明書は、再生紙を使用しています。